

海外日本語教育実習生(インターン)派遣プログラム 申請要領(対米特別追加募集)

1. 事業内容: 日本国内の大学・大学院等の日本語教育機関(以下「連携大学等」という)で日本語教育を専攻する学生を海外の日本語教育機関にインターンとして派遣し、学生や一般層の日本語学習を支援すると同時に、派遣するインターンに海外日本語学習の現場を経験する機会を提供する。

2. 基本条件:

(1) **対象地域:** 連携大学等が海外実習を行う日本語教育機関の所在地
アメリカ合衆国に限定

(2) **実施方法:** 基金と連携大学等の間で、インターンの派遣先、時期、期間、人数など実施の詳細を協議し、その内容を盛り込んだ合意書を締結する。

(3) 参加資格:

イ 連携大学等において、日本語教師養成課程もしくはそれに準ずる課程に所属する学生であること。

ロ 連携大学等が定める海外実習履修要件(取得単位、成績など)を満たしていること。

ハ 連携大学等が定める海外実習の単位取得要件(教案作成などの実習準備、実習への参加、実習報告提出など)を満たすこと。

ニ インターンとしての活動終了後に、基金が定める報告書を提出すること。

外国籍の学生の場合は、日本人学生と同等の資格で大学に所属し、日本人と同等の資格でインターンとしての活動を遂行できること。

(4) **期間・人数:** 連携大学等のカリキュラムに基づき、基金と連携大学等との間で締結する合意書において定める。

(5) **活動内容:** 海外の日本語教育機関における日本語教育および日本文化紹介(提携大学教官および受入機関の指導に基づきインターンとして活動)

(6) **申請方法:** 申請書に必要事項を記入の上、郵便にて送付。

宛先: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

国際交流基金日本語教育支援部 さくらネットワークチーム

(7) **申請受付期間:** 随時(ただし、最終の受付は平成 23 年 10 月 31 日)

(8) **結果通知:** 随時(申請から約 2 ヶ月後)

3. 負担経費:

往復航空券(エコノミー・クラス割引運賃)、住居費、海外旅行傷害保険料、実施に必要な経費(受入先機関からの請求に基づく)、国内交通費等。

負担の内容や支払い方法については、各大学と協議のうえ決定。

4. **派遣期間:** 2 週間から最長 1 年間を予定。

5. 問い合わせ先:

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

国際交流基金 日本語教育支援部 さくらネットワークチーム

Tel: 03-5369-6067 、 E-mail: sakura_network@jpf.go.jp

海外日本語教育実習生(インターン)派遣プログラム 申請書 (対米特別追加募集)

記入日：

平成

年

月

日

1. 国内申請大学情報

申請機関について、以下の情報を記入してください。

大学名			
学部・学科名			
代表者	氏名	(印)	職位
担当者	氏名	職位	
連絡先	住所	電話	
		FAX	
		メールアドレス	

2. 教育実習生派遣先情報

(1) 大学提携プログラムの有無について

あてはまる項目にチェックしてください。

<input type="checkbox"/>	大学提携に基づいた海外実習プログラムを有している
<input type="checkbox"/>	大学提携に基づいた海外実習プログラムを有していない
<input type="checkbox"/>	提携プログラムを有していない場合、以下のどの状況に当てはまるかを選択してください。 イ. 教授等のネットワークを活用して個別に海外の機関と協議し海外実習プログラムを実施している ロ. 基金との協力関係が実現すれば直ぐにでも受入先機関と交渉を開始することができる状況にあり、平成 23 年度内の海外実習プログラムの実施が可能である ハ. 海外実習の実施を希望しているものの、受入先機関を直ぐに選定できる状況にはない

